

田中 ゆうじ

Vol. 4 2018年

春

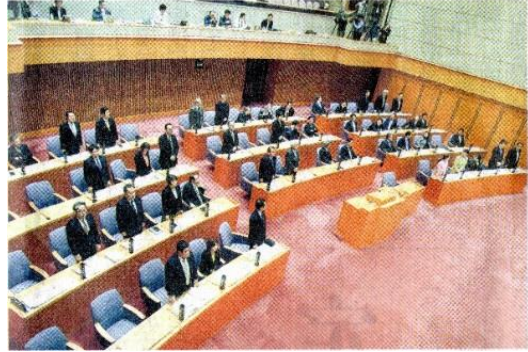
4年前(H26. 5. 26)6減45に
賛成は○、反対は×、就任前は—

6増51
賛成 23

6増51
反対 22

自民党	村林 聡	○	田中 祐治	—
	山本 教和	×	木津 直樹	—
	西場 信行	×	野口 正生	—
	中川 正美	○	石田 成生	○
新政みえ	芳野 正英	—	小林 正人	○
	廣 耕太郎	—	服部 富男	○
	田中 智也	○	津田 健児	○
	藤根 正典	○	中嶋 年規	○
	小島 智子	○	青木 謙順	○
	濱井 初男	○	中森 博文	○
	吉川 新衛	○	前野 和美	○
	津村 熊野	○	水谷 隆勝	○
	杉本 宜三	○	山本 勝	議長
	藤田 健一	○	新政みえ 中瀬 初美	—
	後藤 正信	○	彦坂 公之	○
	日沖 剛志	○	館 直人	○
	前田 哲央	○	鷹山 大久保 孝栄	○
	中村 進一	○	奥野 英介	○
共産党	山本 里香	—	公明党 山内 道明	—
	岡野 恵美	—	今井 智広	○
草の根運動	稲森 稔尚	—	能動 隆尚	○
青峰	野村 保夫	—	大志 崇弘	—
			新政みえ 下野 幸助	○
			鷹山 東 豊	○

退席 2



県民失望の議員定数6増

45名↓51名

来春の県議選から四五となるはずだった議員定数を五一に戻す条例案が、三月二十二日の本会議で、賛成二十三、反対二十二、退席二の賛成多数で可決されました。

三重県議会は、平成二十六年五月二十六日に定数を四五に削減する条例を可決しましたが「周知期間が短い」という理由で次々期選挙(平成三十一年)からと

しました。

しかし、議員定数を五一から四五とする改正条例は、一度も施行せずに撤回され再び五一で行われることが確実となりました。

「新政みえ」が中心

定数増勢力の中心は民進黨系最大党派の新政みえ。四五に減ると自民支持が厚い県南部の一人区を自民系が独占する可能性がある。(出所:中日新聞)

四年前に全員が四五に賛成した新政みえは、今回十三名が五一に戻す条例案に賛成した。反対したの

は、たった二名だった。

議員定数に関しては、選挙区調査特別委員会を設置し、約二年間で三十三回の委員会を開催し議論を重ねても結論が出せない

と今年一月に委員会を結したこと、来春の選挙は四五で行われると思われました。

ところが、「南部地域に配慮すべき」として五名の議員が二月二十六日に五一に戻す議提議案を提出しました。(次頁に続く)

選挙区調査特別委員会